## トンネル直上以外の居住者からも 異常を伝える声が

~ 緊急アンケートから~

2020年10月18日の市道陥没事故から約1年 後の昨年10月15日、事業者ネクスコ東日本の 社長が調布市を訪問して報告と謝罪を行い、 市長は「何よりもまず市民の安全安心の確保 を」と応じた。

その後12月18日に行われた住民説明会で、ネクスコ東日本は「事故現場周辺のボーリング調査からルート真上以外の地盤がシールド工事で緩んだ事実はない」と説明し、住民からは「信じられない」との声が上がった。生活者ネットワークにも以前から同様の声が複数寄せられていたため、地元の声を幅広く聴こうとポスティングによるアンケート調査を行った。

ポスティング地域は東・西つつじケ丘、入間町と若葉町一帯。80件ほど寄せられた回答のうち31件が何らかの異常を感じたというものであり、事業者が工事の影響範囲と特定する「トンネル直上」以外の地域からの回答も複数含まれていた。

市長の言葉通り真に住民の安全安心を確保 しようとするならば、市として住民に丁寧な 被害実態の調査を行い、同時に国に対して第 三者による事故調査委員会等の設置を求める べきと考える。

## 冬の野川の水生生物調査をしました

野川は春の桜のライトアップ、夏の水遊びや四季を感じる川沿いの散歩と、身近に自然と触れ合える場所です。そして、様々な水中の生き物にとっても命を育む大切な場になっていることが、年2回の水生生物調査では実感できます。

冬の日差しが暖かな12月中旬、細田橋下での調査には9名が参加。川に入りタモ網で水生昆虫や魚類を捕獲し、専門家による個体名の判別と説明を聞きながら、観察を行いました。

この日はカワリヌマエビやサホコカゲロウ、ハグロトンボの幼虫やタモロコなど22種類の生物を確認しました。以前に比べて川岸の低木や植物が少ないことが、日影を好む魚類の減少に関係しているようです。川辺の植物は、トンボが逃げ込んだりほたるが繭をつくったりと、成虫が住みやすい環境を提供し、それが水生生物の豊かさにも影響します。

都会の川でけなげに命を つないでいる姿に、多様な 生物が生きられる環境を 守っていきたい思いを強く しました。(DK)



オニヤンマの幼虫





## 活動報告

- 10/16 外環被害住民連絡会·調布 陥没1年集会
- 10/29 調布ネット予算提案
- 10/30 HPVワクチン東京訴訟支援ネット ワーク主催 記念公開シンポジウム
- 11/6 おしゃべりカフェ (議会報告会)
- 11/8 調布市議会議会報告会撮影
- 11/10 調布市議会中心市街地基盤 整備等特別委員会 傍聴
- 11/11 調布市政功労者表彰式
- 11/13 ちょうふたばこ対策ネットワーク主催 講演会「地域における受動喫煙 検診の試み」(黒沢和夫さん)
- 11/18 調布市議会第4回定例会議案説明 外環ネット主催 個人情報漏えい 事件記者会見

11/23-24 コロナ困りごと相談会in調布



予算提案



おしゃべりカフェ

- 11/30 調布市議会第4回定例会開会 情報漏洩問題に関する質疑 12/2-6 一般質問
- 12/5 外環初主催 個人情報漏えい・情報公開請求に関する学習会 (三木由希子さん)
- 12/8 調布市議会委員会審査(文教委員会)
- 12/10 調布市議会調布飛行場等対策特別委員会 傍聴
- 12/11 外環振動·低周波音調査会主催「振動·低周波音中間報告会」
  - 調布LGBT&アライの会主催「性と生き方の多様性講座」
- 12/14 調布市議会文教委員会 布田小学校視察 (タブレット学習)
- 12/16 調布市議会第4回定例会閉会
- 12/18 外環道地盤調査状況及び地盤補修に 関する検討状況の住民説明会
- 12/19 外環道トン礼工事現場視察
- 12/20 議会運営委員会 (専決処分の報告)



学校視察にて







11/25 コロナ災害対策自治体議員の会zoomミーティング 11/28 調布市教育委員会主催調布っ子"夢"発表会

11/19-20 外環被害住民連絡会•調布主催学習会